<u> XOASXOLOWSINISINI</u>

RACE REPORT





SUZUKA Round.01

第1戦 鈴鹿サーキット

2024年3月9日(土) 予選

天候:晴れ 路面:ドライ

#38 阪口 晴南

予選:ポールポジション #39 大湯都史樹 予選: 18番手

いよいよ3月9日(土)、三重県の鈴鹿サーキットで 2024年の全日本スーパーフォーミュラ選手権の開幕を迎 えた。今季、チームは新たなパートナーが加わり VERTEX PARTNERS CERUMO · INGING という新たな名称で臨む ほか、新加入ドライバーとしてこれまでライバルとして戦っ

てきた大湯都史樹、さらに新たなエンジニアがチームに加わ り、阪口晴南と共にフレッシュな体制でシーズンに挑む。

今季は例年よりも1ヶ月近く早い開幕だったが、チームは 2月21~22日に鈴鹿で行われた合同テストで準備を進 め、開幕戦に臨むことになった。

PRACTICE

3月9日(土) 10:10~11:40 天候:晴れ 路面:ドライ ベストタイム #38 阪口晴南 1'37.232 / #39 大湯都史樹 1'37.904

3月9日(土)の鈴鹿サーキットは、朝から晴天に恵まれ た。ただ、かなり風が強いコンディションで、5分遅れの午 前 10 時 10 分からスタートしたフリー走行は、気温9度/ 路面温度 16 度と厳しい冷え込みのなかでスタートした。

阪口晴南、そして大湯都史樹ともセッション開始後しばら く経ってからコースイン。3~4周のショートランを繰り返 しながら、公式予選に向けたセットアップを続けていった。 「2月の合同テストでは良くなっている印象があり、手ごた えを感じていたのですが、フリー走行では風も強くて走りづ らいところもあり、印象が変わっていました」という阪口だっ たが、チェッカー間際にアタックシミュレーションを行うも、 1分37秒232というベストタイムで結果は11番手。トッ プとは 0.817 秒の差があった。

「ライバルにも速さがありましたし、テストでの印象の方が 良かったので、予選までに合わせ込むことができればと思っ ています」と阪口は午前のフリー走行を振り返った。

一方の大湯は、これまで切れ味鋭いスピードをみせてきた ドライバーだが、今季移籍してきたこともあり、「まだ大湯 のドライビングが求めるクルマとセットアップに開きがある (立川祐路監督)」とチームとセットアップの最適解を求めて いる状況だった。大湯自身も「合同テストの感触は正直良く なかったこともあり、開幕戦までの短いスパンのなかで方向 性を探っていきました」という状況で、フリー走行でもまだ 大湯が求めるものとは異なっていた。チームと大湯はセット アップ変更を進めていったものの、最後のアタックシミュ レーションで記録されたタイムは 1分37秒904というも の。16番手と苦しいフリー走行となった。

阪口と大湯は午後の予選に向け、フリー走行で得られたヒ ントをもとにさらにセットアップを進めていった。



QUALIFY 公式予選

3月9日(土) 15:05~15:50 天候:晴れ 路面:ドライベストタイム #38 阪口晴南 1'35.789/#39 大湯都史樹 1'36.938



午前のフリー走行開始時から強い風に悩まされていた鈴鹿サーキットは、その後もサポートレース開催時には雨が降り出すなど不安定な天候が続いており、二輪 JSB1000 の予選は悪天候のためキャンセルになるなど影響が出ていた。ただ幸い、午後3時05分から行われた公式予選Q1 は風は強いままだったものの、ふたたび晴れ間が広がった。

まず予選 Q1 の A組に出走したのは大湯。フリー走行ではいまひとつ良いセットアップが見出せずにいた状況だったが、予選に向けて大幅に施したセット変更が大湯が望む方向に変化していった。「ここで光が少し見えました」という大湯だったものの、やはり煮詰められたセットではなく、アタックの結果記録されたタイムは 1 分 36 秒 938。9番手とQ2 進出には届かない予選となってしまった。

一方、B組から出走した阪口も予選に向けてセットアップの修正を行っていたが、これが良い方向に転じる。強風、冷え込みという状況のなかではあったが、強力なグリップを感じた阪口はアタック一閃。1分36秒404というタイムを記録し、3番手でQ2進出を果たしてみせた。ライバル勢も速い状況ではあったが、十分に予選上位も狙えそうな手ごたえを得ていた。

Q1のB組が終わり、午後3時40分から行われたQ2を前に、コクピットに座っていた阪口はチームと無線でコミュニケーションをとった。Q2に向けてセットアップ変更が必要かどうかの確認を行っていったが、Q1でも十分なスピードを感じていた阪口は、無線で「このままで良いと思います」と答えた。

しかし、立川監督は「このままでポールポジションを獲れるのか?」と阪口に返した。攻めた姿勢を貫かなければ、好結果は得られない。阪口も立川監督の意見に同意し、エンジ

ニアたちはさらなるスピードを求め、セットアップの修正を行っていくと、これが Q2 での好結果に繋がっていった。

コースインした阪口は4周目、抜群のアタックを決めると1分35秒789というタイムを叩き出す。その阪口のタイムが記録された直後、続々とライバルたちもアタックを終えていくが、阪口のタイムは更新されない。最後のアタッカーがタイムを記録したが、モニターの最上位に阪口のタイムが残り続けた。攻めの姿勢が、ポールポジション獲得に繋がったのだ。

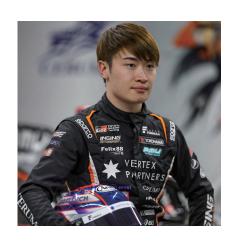
午前の感触がそれほど良くなかったことから、阪口本人も驚いた自身初めてのポール獲得。VERTEX PARTNERS CERUMO·INGING にとっても、2023 年第 4 戦オートポリス以来のポールポジションとなった。

開幕戦の予選日を好結果で終えることになったチームは、 迎える3月10日(日)の決勝レースで、さらなる成果に繋 げるべくチームー丸となって臨んでいく。





COMMENTS ドライバー/監督コメント



阪口 晴南 38 **SENA SAKAGUCHI**

「正直に言ってしまうと、僕も少し驚いたポールポジションでした。フリー走行では 風も強く、雰囲気があまり良くなかったのですが、公式予選 Q1 ではものすごくフィー リングが良くなっていて、良いタイム、そして手ごたえを感じることができていまし た。そこで僕としては十分かと思っていましたが、チームがまだ上がり代があると判 断してくれて、そこでもう一度トライしたのがこの結果に繋がったので、チームには 感謝しています。今回、予選でこれほどのパフォーマンスを発揮できたのは間違いな く決勝でも活きると思っていますし、その点では自信をもって走りたいです。また上 位の選手と戦うことで発見もあると思うので、気負わずにレースを戦いたいですね」



大湯 都史樹 39 **TOSHIKI OYU**

「合同テストから正直、あまり良い感触を得られていなかったので、そこからどう改 善するかを短い期間で考えてきましたが、フリー走行では残念ながら思っていたクル マにはなっていませんでした。ただ、午後の公式予選に向けて変更したことで光が見 えたと思っています。今後に繋がる手ごたえを感じられた気がしていますね。ただ、 その手ごたえは予選に対してであって、決勝はまた模索していかなければなりません。 最低限予選でもある程度のタイムを出さなければならないと思いますし、まだその段 階に至っていないのが苦しいところです。とはいえ、明日にはもう決勝レースですし、 阪口選手との違いなども認識しながら、しっかり対策を考えていきたいと思います」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「昨年、阪口選手は苦労してきましたが、彼のパフォーマンスはこんなものではない と思っていましたし、今季チームとしてエンジニアリングを強化したので、その成果 が早くも出たのではないかと思っています。手ごたえ自体はテストからありましたが、 今日はそれを上回るポールポジションという結果なので、ドライバーとエンジニアの 頑張りを褒めたいですね。大湯選手はまだ苦労していますが、昨年まで彼が乗ってい たクルマとはキャラクターも違うようなので、彼の本来の速さを引き出すためにじっ くりやっていきたいです。今季、チームとしては優勝を必ず成し遂げる目標がありま すが、そのチャンスがさっそくやってきたので、頑張っていきたいと思っています」





RACE REPO

RESULT

リザルト

第1戦鈴鹿 予選結果

Pos.	No.	Driver	Team	Engine	Q1	Q2
1	38	阪□晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.404	1'35.789
2	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.284	1'35.880
3	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'35.862	1'35.926
4	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.558	1'36.034
5	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.450	1'36.057
6	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.745	1'36.124
7	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.518	1'36.156
8	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.296	1'36.295
9	55	松下信治	TGM Grand Prix SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.633	1'36.351
10	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.472	1'36.387
11	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.545	1'36.446
12	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'36.601	1'36.851
13	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.697	
14	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.840	
15	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.729	
16	19	T. プルシェール	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.868	
17	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'37.292	
18	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'36.938	
19	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'40.699	
20	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD TRD01F	1'37.331	
21	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	1'38.467	